

IGS 日本支部賞

技術奨励賞を受賞して

(株) ハブ 毛 木 博 彰
(株) ハブ 山 本 英 明
三井化学産資 (株) 上 野 豊
三井化学産資 (株) 松 本 七保子

このたび、「河川修景護岸工法」(ジオシンセティック技術情報 2005 年月 11 号掲載)に対し、2006 年度 JC-IGS 技術奨励賞を賜り、誠に光栄に思います。受賞に際し、本学会関係者をはじめ、これまで多大なご指導を頂きました関係各位皆様方に謹んで御礼申し上げます。

本工法は従来工であるコンクリート護岸に対し、河川に生息する動植物にとってより負担の少ない環境を創出する自然復元可能な護岸です。耐侵食性を有し、現地発生土の利用により郷土種の自然植生が回復するまでのり面の安定・保護を目的とした、ジオグリッドを用いた補強土工法です。

施工 10 年後の追跡調査において、台風災害・融雪出水時においても健全な護岸を維持していることが確認され、植生マットに配合した種子以外の木本類も多く繁茂し、現地の植生が復元できていることが確認でき、本工法の信頼性が確認されるに至っております。



写真-1 施工後1ヶ月

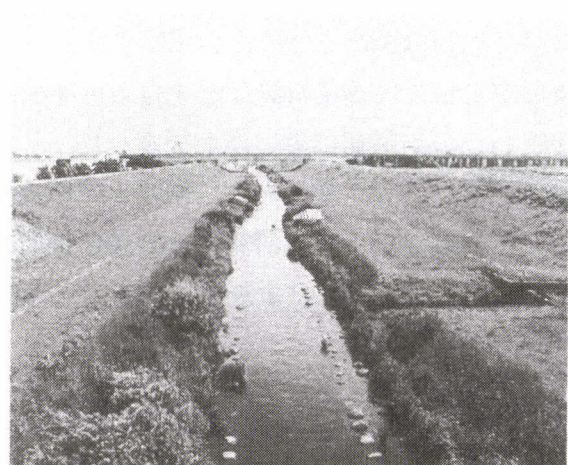


写真-2 施工後3年

1996 年より、北海道の河川にて開発され、現在も北海道を中心にご使用いただいております。今後、実績の調査等綿密に行い本工法の品質をより向上させ、自然災害に強くかつ環境の調和を目標としつつ全国の河川への普及に努めたいと思います。

最後に、国際ジオシンセティックス学会ならびに補強土分野の益々のご発展を祈願致しますと共に、当工法の技術開発にあたりご協力を頂いた皆様に謝意を申し上げます。